

Information

転倒予防医学研究会 第13回転倒予防指導者養成講座

【日時】5月21日(土)～22日(日)【会場】熊本機能病院(熊本市)【開講式】「転倒予防の目指すもの」武藤芳照(転倒予防医学研究会)他【講義】1「高齢者の転倒・骨折 今できること・やるべきこと」高杉紳一郎(九州大学病院)／2「回復期リハビリテーション病棟におけるチームアプローチによる転倒予防対策への取り組み」渡邊進(熊本機能病院)／3「転倒リスクの評価法」岡田真平(身体教育医学研究所)・北湯口純(雲南市立身体教育医学研究所うなん)他／4「高齢者における薬剤と転倒リスク」小原淳(東京厚生年金病院)／5「認知症のある高齢者への転倒予防に配慮した関わり方」鈴木みずえ(浜松医科大学)／6「地域在住高齢者に対する転倒予防事業の展望と課題」河本耕一(熊本健康・体力づくりセンター)【実技】「地域在住高齢者向けの運動プログラムを考える」北湯口純・岡田真平【定員】50名(実技講習は運動着、上履き持参)【参加費】会員28000円、非会員30000円(テキスト代、交流会費を含む)【申し込み】FAXまたはE-mailで氏名(フリガナ)、会員か非会員の明記、所属先、職種、参加票送付先住所(所属先か自宅の明記)、TEL、FAX番号を記入の上、下記事務局まで【問い合わせ】〒104-0045 東京都中央区築地1-9-4 ちとせビル3F 事務局【TEL & FAX】03-3544-6112【E-mail】tentou@ellesnet.co.jp【URL】http://www.tentouyobou.jp/

田口ランディ×春日武彦×月乃光司 ジョイント朗読会 in アップリンク・ファクトリー——『臨床の詩学』(医学書院・春日武彦著)出版記念

【日時】2011年6月4日(土)、開場18時30分、開演19時00分(終了予定21時30分)※18時より整理券を配布致します。(前売り・予約はありません)【会場】アップリンク・ファクトリー(東京都渋谷区宇田川町37-18 トツネビル1F)アクセス <http://www.uplink.co.jp/factory/>【出演】田口ランディ(作家)／春日武彦(精神科医)／月乃光司(アルコール依存症当事者・こわれ者の祭典代表)／しんぞう(画家・『臨床の詩学』挿絵)／タダフジカ(ギタリスト)【内容】未曾有の大地震……、今、日本中の心も揺れています。日々の生活のなかで、心の揺れを少しでも落ち着かせるために、「心の問題」をテーマとしたイベントを開催致します。出演者によるトークショーと朗読。しんぞうによるライブペインティングもあります。【放送】USTREAMでネット動画生放送・オンデマンド放送 <http://www.ustream.tv/channel/tsukino-kouji>【料金】3000円(ワンドリンク付)障がい者手帳、精神科・心療内科診察券、持参の方は500円割引。【問合せ】070-6666-9940(実行委員会)

第7回日本司法精神医学会

【テーマ】日本の司法精神医学の多面性と実像【日時】6月4日(土)～5日(日)【会場】岡山コンベンションセンター(岡山市)【特別講演】「矯正施設内での精神科医療」佐藤誠(北九州医療刑務所)

【教育講演】1「児童虐待、そして親権にかかわる法的問題」磯谷文明(東京弁護士会)／2「刑事責任能力の考え方とその判断」町野朔(上智大学)【シンポジウム】1「医療観察法における『治療反応性』をめぐる」岡田幸之(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)・村上優(国立琉球病院)・岩成秀夫(神奈川県立精神医療センター)・裁判官・中島直(多摩あおば病院)／2「遺言能力をめぐる」松下正明(東京都健康長寿医療センター)・五十嵐禎人(千葉大学社会精神保健教育研究センター)・村田彰(流通経済大学)・榎本康浩(岡山弁護士会)【第3回刑事精神鑑定ワークショップ】5日15時～「事例検討」平林直次(国立精神・神経医療研究センター病院)・松原三郎(松原病院)【問い合わせ】〒700-0915 岡山市北区鹿田本町3-16 岡山県精神科医療センター内(担当:松本)【TEL】086-225-3821【FAX】086-234-2639【E-mail】forensic7th@popmc.jp【URL】<http://www.pac.ne.jp/forensic7th/index.html>

第17回(通算38回)日本精神神経科診療所協会総会・学術研究会 福岡北九州大会

【テーマ】私たちはどこからきたのか、私たちは何者か、私たちはどこへ行くのか【日時】6月11日(土)～12日(日)【会場】北九州国際会議場(北九州市小倉北区)【日本精神神経学会生涯セミナー(予定)】「うつ病概念の混乱を整理する——抗うつ薬の適性使用の観点から」神庭重信(九州大学)【特別講演】「女性勤労者のメンタルヘルス」中村純(産業医

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

科大学)【URL】<http://www.japc.or.jp/info.html>

第26回 日本保健医療行動科学会学術大会

【テーマ】保健・医療現場におけるリスクコミュニケーション【日時】6月11日(土)～12日(日)【会場】大阪医科大学看護学部(本部北キャンパス)(大阪府高槻市)【基調講演】「子ども、家庭、学校と医療におけるリスクコミュニケーション」元村直靖(大阪医科大学)【シンポジウム】Ⅰ「不安の強い子どもたちのために」①子どものうつ②子どもの不安障害③子どもの緘黙④子どものトラウマ／Ⅱ「保健・医療現場におけるリスクコミュニケーション」【ラウンドテーブルディスカッション】「子育て支援について(虐待との関連で)」【体験学習ワークショップ】①「サイコロジカルファーストエイド」／②「禁煙マラソン」／③「ヒーリング」／④「園芸療法」【参加費】事前登録(～5月31日): 会員5000円、非会員6000円、学部学生3000円、非会員1日コース3000円。当日: 会員6000円、非会員7000円、学部学生4000円、非会員1日コース4000円。懇親会: 一般(会員・非会員)5000円、学部生3000円【問い合わせ】〒569-0095 高槻市八丁西町7-6 大阪医科大学看護学部元村研究室【TEL】072-684-7267【FAX】072-684-7267【E-mail】nrs105@art.osaka-med.ac.jp【URL】<http://jahbs.info/taikai26.html>

日本病跡学会第58回大会

【テーマ】日常生活における創造性——自己表現とレジリエンス【日時】6月17日(金)～18日(土)【会場】栃木県総合文化センター(宇都宮市)【特別講演】「ヒューマンの限界をめぐって」小林康夫(東京大学)【会長講演】「精神分析と神学——J. ラカンの場合」加藤敏【シンポジウム】1「語りとレジリエンス」石川元(香川大学)・河本英夫(東洋大学)・八木剛平(翠星ヒーリングセンター)／2「表現病理と日常生活の創造性」稲田雅美(同志社女子大学)・馬場存(東邦音楽大学)・小林聡幸(自治医科大学)【参加費】会員7000円、非会員医師8000円、非会員医師以外4000円。懇親会5000円(予定)【問い合わせ】〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1 自治医科大学精神医学教室 小林聡幸【TEL】0285-58-7364【FAX】0285-44-6198【E-mail】psychiat@jichi.ac.jp【URL】<http://pathog.umin.jp/annual-meeting.html>

第105回日本小児精神神経学会

【日時】6月18日(土)～19日(日)【会場】朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター(新潟市)【テーマ】発達正しい理解をめざして【教育講演】「脳ブームの迷信(仮)」藤田一郎(大阪大学)【特別講演・シンポジウム】「発達障害は本当に増えているの?——我が国の疫学調査の実態から」武井教使(浜松医科大学子どものこころの発達研究センター)・鷲見聡(名古屋市西部地域療育センター)・本田秀夫(山梨県中央児

童相談所)・田村立(新潟大学)【モーニングセミナー】「PECSの理論と実践(仮)」服巻繁(ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン)【教育セミナー】「PARSの実践(仮)」辻井正次(中京大学)【問い合わせ】〒951-8510 新潟市旭町通1-757 新潟大学医歯学総合研究科精神医学分野内 田村立【FAX】025-227-0777【E-mail】105jsppn@gmail.com【URL】<http://jsppn105.umin.jp/index.html>

日本思春期青年期精神医学会 第24回大会

【日時】6月18日(土)～19日(日)【会場】京都女子大学東山キャンパス(京都市東山区)【シンポジウム】「小児虐待とその後の人格形成への影響」笠原麻里(国立成育医療センター)・白波瀬丈一郎(慶応義塾大学)・大矢大(京都女子大学)・小林隆児(大正大学)【学術講演】「パーソナリティ障害の概念とその歴史的変遷」狩野力八郎(東京国際大学)【参加資格】会員および研修会員、医学・心理学・教育学などにおいて実践現場をもつ人、あるいは医学・臨床心理学・教育学・福祉学などの大学院生で、守秘義務を負うことに同意する人(非会員と大学院生は身分を証明するものを持参)【参加費】会員12000円(懇親会費を含む)、非会員: 1日7000円、2日12000円、大学院学生: 1日4000円、2日7000円。懇親会費6000円【問い合わせ先】〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35 京都女子大学発達教育学部大矢研究室内【FAX】075-531-7285【E-mail】

jsap2011@kyoto-wu.ac.jp
【URL】 <http://www.geocities.jp/jsapp2011/>

**第10回国際家族看護学会(IFNA)
(日本家族看護学会第18回学術
集会と合同開催)**

【テーマ】 家族看護の可視化：知の構築から実践へ 【日時】 6月25日(土)～27日(月) 【会場】 国立京都国際会館(京都市左京区) 【IFNA 会長講演】 「遺伝子学を家族看護学研究と教育に統合する」 Marcia Van Riper (ノースカロライナ大学) 【大会長講演】 「苦悩する家族を支援する：プログラム開発と臨床試験」(仮)森山美知子(広島大学) 【日本家族看護学会第18回学術集会会長講演】 法橋尚宏(神戸大学) 【オープニングスピーチ】 「日本の家族」 前原澄子(京都橘大学) 【家族看護学会誌(国際)編集委員講演】 「Return of “Intimate Outsider”——家族看護研究における最新トレンドと論点」 Lawrence H. Ganong(ミズーリ大学) 【基調講演】 「WHO ヨーロッパ・ファミリー・ヘルス・ナース・プロジェクト」 Bente Sivertsen(デンマーク看護婦協会) 【参加費】 IFNA 会員 36000 円、非会員 40000 円(どちらも同時開催の日本家族看護学会第18回学術集会への参加費を含む) 【問い合わせ】 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル 運営事務局 【TEL】 06-637-3051 【FAX】 06-6376-2362 【E-mail】 ifnc2011@intergroup.co.jp 【URL】 <http://www.ifnc2011.org/japan/index.html>

第8回日本うつ病学会総会

【テーマ】 現代うつ病の輪郭—いま求められる対応 【日時】 7月1日(金)～2日(土) 【会場】 大阪国際交流センター(大阪市天王寺区) 【参加費】 会員：医師 6000 円、コメディカル 4000 円、臨時会員：医師 8000 円、コメディカル 6000 円 【臨時会員】 非会員は会員の紹介(署名・捺印)が原則、会員の紹介がない場合は正会員の資格に準じ、うつ病の臨床、研究、教育、保健に従事していること、かつ参加登録費を当日納めることにより総会の期間中に限り臨時会員とする 【申し込み】 下記ホームページより、臨時会員事前申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、事務局に FAX で送信。5月16日(月)17時必着 【問い合わせ】 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F コンベンションリンクージュ内 【TEL】 06-6377-2188 【FAX】 06-6377-2075 【E-mail】 jsmd_8th@c-linkage.co.jp 【URL】 <http://www.c-linkage.co.jp/jsmd8/>

**お薬クロスワードパズル
4 ページのこたえ**

コ	ヤ	ク	ラ	マ	エ
コ	キ		ヤ	イ	バ
ア	モ	バ	ン	ス	ミ
デ	チ	ン	グ	リ	ー
イ	ン	ド	ラ	ー	ル
ユ	ー	ロ	ジ	ン	ア
ー		セ	オ	リ	ー